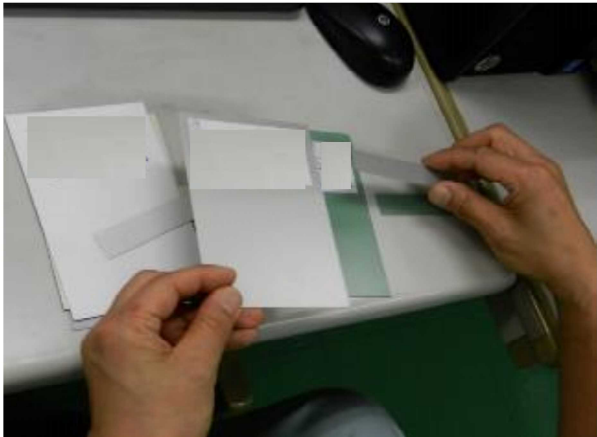


整理No. 2018-73		労働災害状況調査表			
災害発生日時		2018年 7月 10日(火) 15時 10分 天候(晴れ) 温度(- °C)湿度(- %)			
災害区分		<input checked="" type="radio"/> 不休災害 <input type="radio"/> 休業災害 (休業:一日)			
被災者	部門	品管		雇用形態 正社員 <input checked="" type="radio"/> 派遣、契約、その他(構内委託)	
	年齢	24 歳	性別: <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	勤続年数 4か月	経験年数 4か月
	傷病名	右第2指(人差し指) 切創(2針)			
	傷病部位	右第2指(人差し指)			
災害発生状況	鋼板の大小仕分け作業時、素手で鋼板を持ち、測定用の小さい板を仕分けしようとしたところ、鋼板のエッジが鋭利な状態となっている所に、右手人差し指が擦れて先端を切創した。		状況概略(写真orイラスト) 		
	災害の型 ^{※1)}	6. 切れ、こすれ		作業の形態: <input checked="" type="radio"/> 定常、非定常、その他()	
	起因物:	塗板		特記事項	
原因分類	1. 人的要因(man)				
	保護手袋を使用していなかった。				
	2. 物に関する要因(machine)				
	-				
3. 環境要因(media)					
職制の教育指導が不十分であった。(特に新入社員・新入派遣社員)					
4. 管理的要因(management)					
検査手順書には、塗板取扱いに関する安全面での注意点が具体的に記載されていなかった。					
対策	①バリのある塗板を触る場合は、切創防止手袋等を使用するよう課員全員へ配布し個人教育を行う。				
	②RCマネジメントプログラムに落とし込み、毎年繰り返し教育を実施する。				
	③手順書を見直し、安全面の記載を追記して再教育を実施。				
	④保護具の着用状況については職制による抜き打ちパトロールを実施。				
対策分類 ^{※2)} : 1-3リスクアセスメント、1-6教育、2-4危険認識					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)